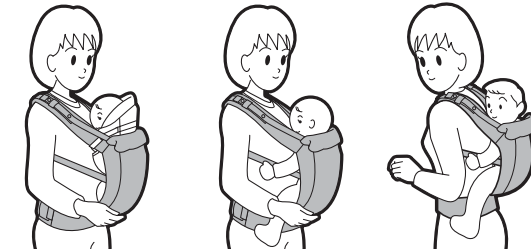


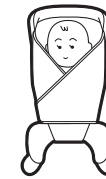


子守帯
ルーポップ ゼロ
Roopop zero

取扱説明書／保証書



〈首すわり前タテ抱っこ〉 〈タテ抱っこ〉 〈おんぶ〉



〈おくるみインサート単体使用〉

- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

製造元：グレコ・チルドレンズプロダクツ インク
連絡先：アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

このたびはGRACO®製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みの上、正しくご使用ください。
本書に記載されている以外の方法でご使用されると、製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
本書をお読みになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

目次

ご使用前に	1
子守帯について	1
おくるみインサートを単体で使用する場合について	1
表示内容について	1
使用できるお子さまの月齢について	1
製品内容紹介	2
ご使用上の注意	3
バックルの使い方／ベルトの調節方法	5
首すわり前タテ抱っこ（体重3.5kgから 体重7kgまで）	6
首すわり前タテ抱っこの準備	6
首すわり前タテ抱っこの装着方法	8
首すわり前タテ抱っこの確認	9
フード	10
首すわり前タテ抱っこの降ろし方	10
おくるみインサート・座部クッションの取り外し	11
おくるみインサートを単体でお使いいただく場合	12
おくるみインサート・座部クッションの取り付け	13
タテ抱っこ（首がすわってから 体重13kgまで）	14
タテ抱っこの準備	14
タテ抱っこの装着方法	14
タテ抱っこの確認	16
フード／レッグホルダー	17
おんぶ（首がすわってから 体重15kgまで）	18
おんぶの装着方法	18
おんぶの確認	20
タテ抱っこからおんぶへ	20
フード	22
月齢が小さい時	23
おんぶの降ろし方	23
その他	24
点検について／お手入れについて	24
保証とアフターサービスについて	24
SGマークについて	25
保証書	26

子守帯について

- この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物の時などに使用するための1人用子守帯です。

おくるみインサートを単体で使用する場合について

- お子さまをくるんで寝かしつけや落ち着かせなどに使用するためのものです。そのままお布団などに寝かせてあげることができます。(寝冷えを防いだり、防寒を目的としたものではありません。)

表示内容について

- 「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

表示	表示の内容
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

使用できるお子さまの月齢について

- お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

参考月齢		0カ月 14日	首すわり (4カ月頃)	24カ月頃	36カ月頃	使用の条件
おくるみインサート単体使用		体重2.5Kgから7Kg(4カ月頃)まで ただし首がすわるまで				首すわりまで
子守帯	首すわり前タテ抱っこ (保護者の方を向いて抱っこする)	生後14日以降かつ体重3.5Kg以上から体重7Kg(4カ月頃)まで ただし首がすわるまで				首すわりまで
	タテ抱っこ	首がすわってから24カ月頃(目安)まで				13kgまで
	おんぶ	首がすわってから36カ月頃(目安)まで				15kgまで

※お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります。また、お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。
※使用者の腰ベルトサイズは74cm～118cmまでご使用いただけます。

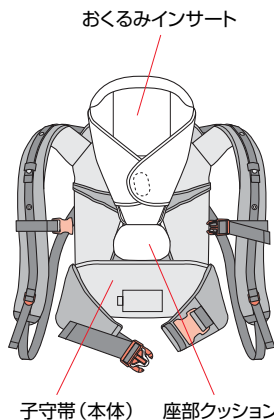
製品内容紹介

※出荷時はおくるみインサートと座部クッションがセットされています。

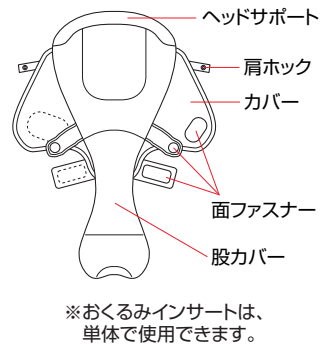
- 製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。

〈各部の名称〉

■取り出した時



■おくるみインサート



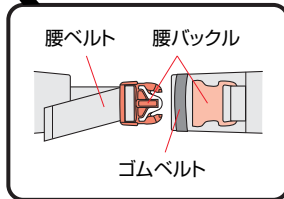
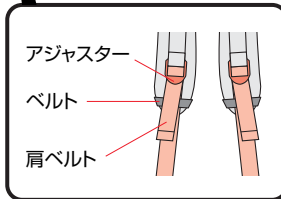
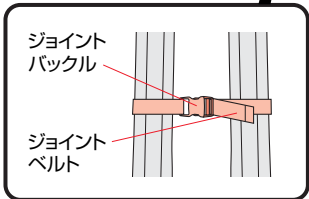
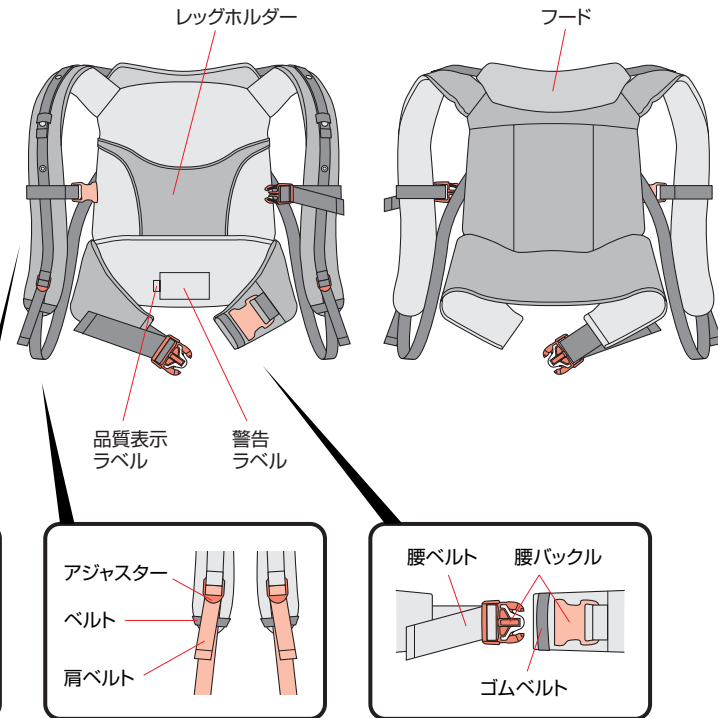
■座部クッション



※品番・ロット番号は品質表示ラベルに記載されています。

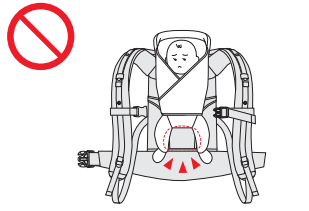
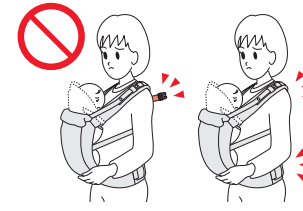
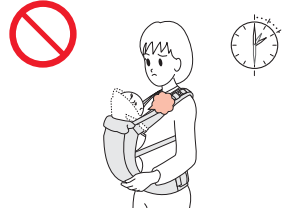


■子守帯(本体)



ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

 警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
首すわり前タテ抱っこ使用時は、おくるみインサートのみで使用しない。座部クッションが本体に取り付けられていることを確認してください。お子さまが体調を損なうおそれがあります。	首のすわらないお子さまに使用する際はおくるみインサートと座部クッションを正しく装着して使用してください。正しく装着されていないと、お子さまが体調を損なうおそれがあります。	肩バックル、腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。肩ベルト、腰ベルト、ジョイントベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。お子さまが落下するおそれがあります。	走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。お子さまが落下するおそれがあります。
			
タテ抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使用しない。 おんぶでは、体重15kgを超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下するおそれがあります。			
		おくるみインサートを単体でご使用いただく時	
		首がすわったお子さまにはおくるみインサートを使用しない。 うつぶせになると窒息のおそれがあります。	お子さまを拘束する必要がある製品には乗せない。 お子さまを適切に拘束できません。
			

ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

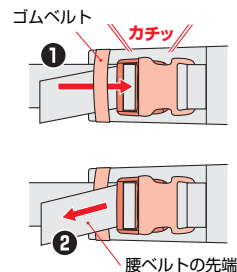
 警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
・バックルは使用していない時も外したままにしない。お子さまがバックルに指を入れて、けがをするおそれがあります。 ・梱包袋（パッケージ）はお子さまがかぶらないよう放置しない。窒息する可能性があります。 ・お子さまを乗せる時や降ろす時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。 ・ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後に使用しない。お子さまが落下するおそれがあります。 ・バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態では使用しない。お子さまが落下するおそれがあります。 ・飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。 ・お子さまの顔が強く使用者の胸につき気道をふさぐ状態で使用しない。気道がふさがると窒息するおそれがあります。 ・おくるみインサートを子守帯（本体）から外して使用する時は、おくるみ以外の目的で使用しない。 ・おくるみインサートを他の子守帯に使用しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。 ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。 ・首すわり前タテ抱っこ使用時は、お子さまの頭がおくるみインサートから出た状態で使用しない。お子さまの頭が支えられないおそれがあります。 ・面ファスナーは必ずとめた状態を確認し、ご使用ください。思わぬ事故につながるおそれがあります。 ・本製品を改造（染色など）しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。	
 注意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。	
・装着者およびお子さまが使用中に痛みや不快を感じた時は直ちに使用を中止してください。 ・タテ抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。 ・暖房器具の近くなど高温になる場所に放置しない。 ・直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。 ・洗濯する際は面ファスナーをとめてください。面ファスナーや本製品の生地および他の洗濯物がいたむおそれがあります。 ・その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用をしない。	
	

バックルの使い方

〈腰バックル〉

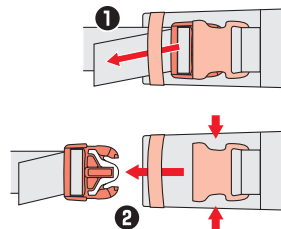
とめ方

- ①腰バックルをゴムベルトに通し、腰バックルをとめる。
- ②腰ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。



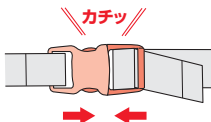
外し方

- ①腰ベルトの先端をゴムベルトに通す。
- ②腰バックルを外し、腰バックルをゴムベルトから抜き取る。

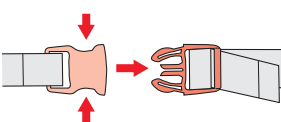


〈ジョイントバックル〉

とめ方



外し方



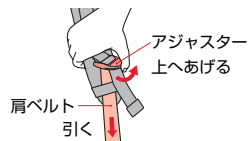
ベルトの調節方法

〈肩ベルト〉

短くする時

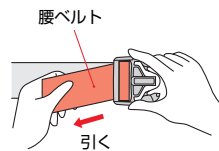


長くする時

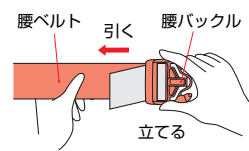


〈腰ベルト〉

短くする時

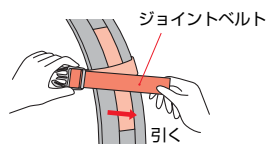


長くする時

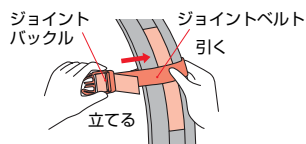


〈ジョイントベルト〉

短くする時



長くする時

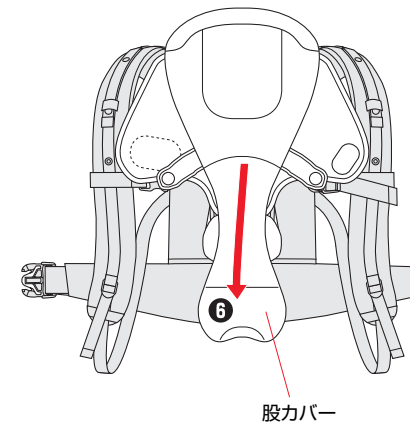
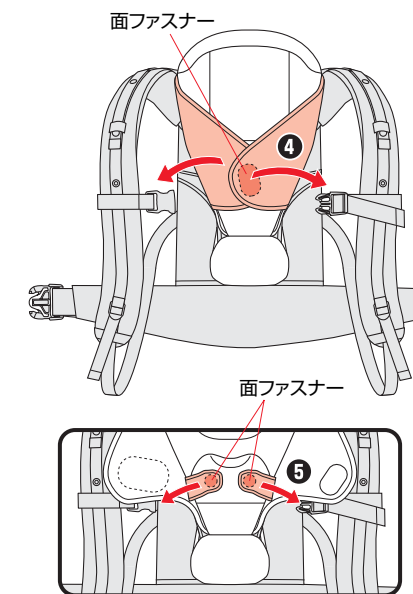
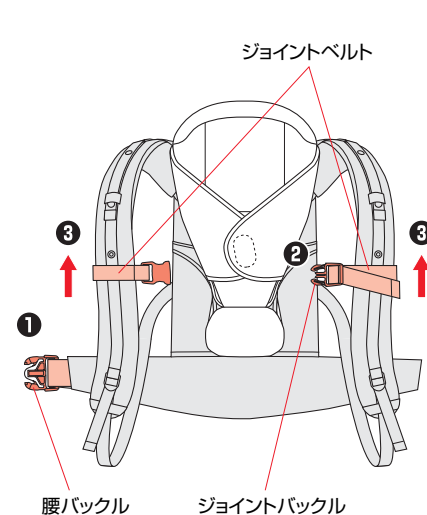


首すわり前タテ抱っこの準備

- ①腰バックルを外す。
- ②ジョイントバックルを外す。
- ③ジョイントベルトを上にならず。

- ④カバーの面ファスナーを外す。
- ⑤股カバーの面ファスナーを外す。

- ⑥股カバーをひろげる。



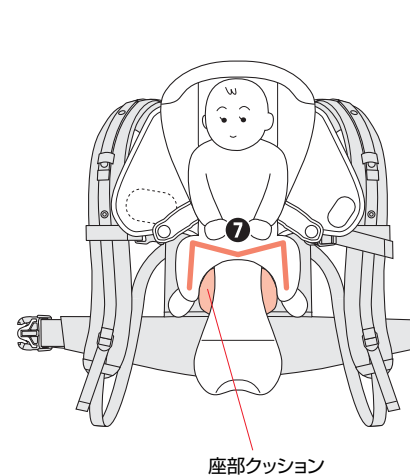
・お子さまを乗せる前に各部のベルトの長さを使用者の身体に合わせて調節してください。お子さまと使用者の間に隙間ができて思わぬ事故やケガをするおそれがあります。
・首すわり前タテ抱っこでは、おくるみインサートと座部クッションを必ずご使用ください。お子さまが体調を損なうおそれがあります。

首すわり前タテ抱っこの準備 (つづき)

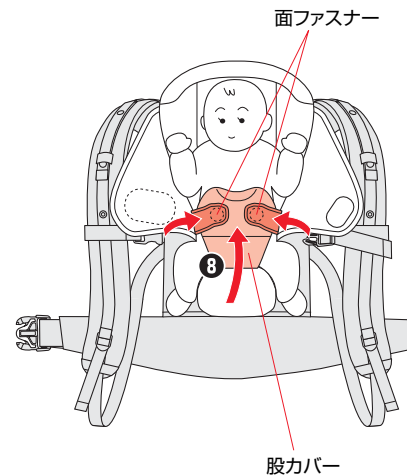
⑦おくるみインサートにお子さまの足がM字になるように乗せる。

⑧股力バーをお子さまにあて左右の面ファスナーをとめる。

⑨お子さまの腕を包み込み、カバーの面ファスナーをとめる。



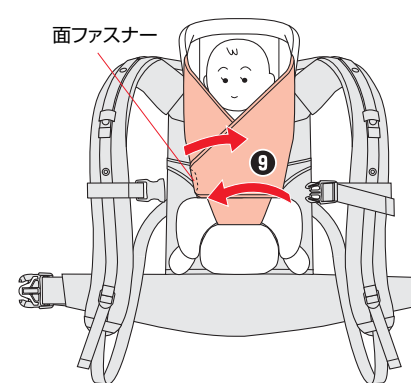
座部クッション



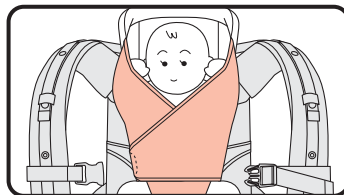
股力バー

アドバイス ・お子さまの足が腰ベルトに挟まれていないことを確認してください。

警告 ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。
・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。



アドバイス ・腕を包み込み、カバーをきつめにすることをおすすめします。ただし、お子さまの手を出しても使用できます。



首すわり前タテ抱っこの装着方法

①安全な場所に子守帯を広げ、腰バックルをゴムベルトに通す。

②腰バックルをとめる。(P5参照)

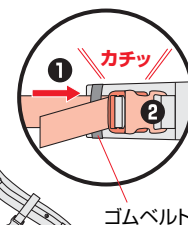
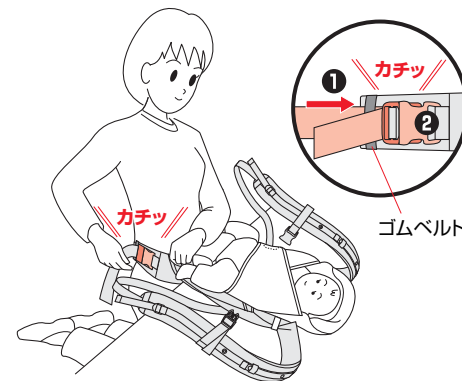
③腰ベルトを調節する。

④あまったベルトをゴムでまとめる。

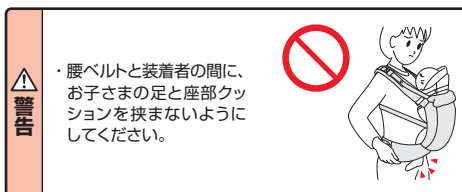
⑤お子さまを抱き上げ、左右の肩ベルトをかける。

⑥首の後ろでジョイントバックルをとめる。

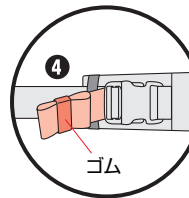
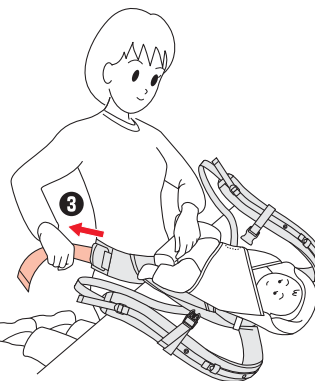
⑦ジョイントベルトを調節する。



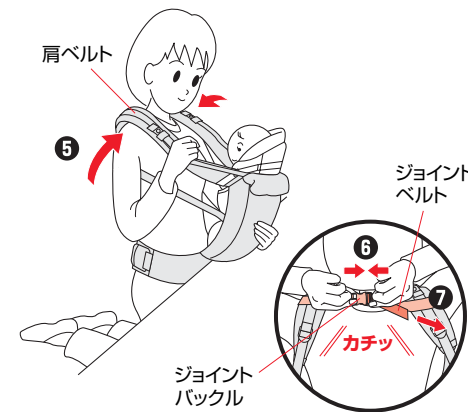
ゴムベルト



警告 ・腰ベルトと装着者の間に、お子さまの足と座部クッションを挟まないようにしてください。

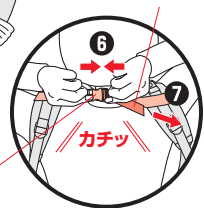


ゴム



肩ベルト

⑤

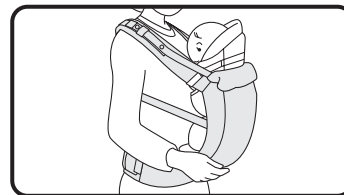


ジョイントベルト

⑥

カチッ

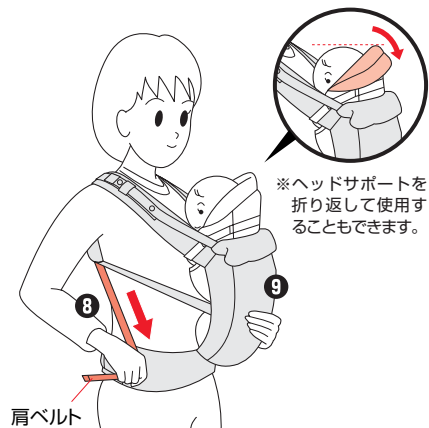
アドバイス ・お子さまの成長に合わせて、お子さまの脚部を子守帯から出してご使用いただけます。



警告 ・首すわり前タテ抱っこでは、おくるみインサートと座部クッションを必ずご使用ください。お子さまが体調を損なうおそれがあります。
・ご使用の際は、バックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。
・ベルトの長さを装着者の身体にあわせて、きつめに調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。
・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

首すわり前タテ抱っこの装着方法（つづき）

- ⑧左右の肩ベルトを調節する。
- ⑨お子さまの位置を調える。



アドバイス

- 肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- 脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯に直接触れないようにしてください。



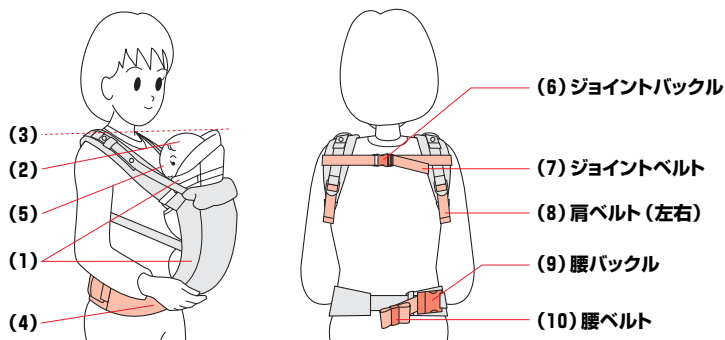
- ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

- ⑩鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。

※正しく装着できていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

首すわり前タテ抱っこの確認

- (1) おくるみインサートと座部クッションが正しく取り付けられている。
- (2) お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない。
- (3) お子さまの頭部がヘッドサポートから出していない。
- (4) 腰ベルトと装着者の間にお子さまの足と座部クッションが挟まれていない。(P8参照)
- (5) お子さまの顔が強く使用者の胸につき、気道をふさいでいない。
- (6) ジョイントバックルが確実にとまっている。(P8参照)
- (7) ジョイントベルトを調節している。(P8参照)
- (8) 肩ベルトを調節している。(P9参照)
- (9) 腰バックルが確実にとまっている。(P8参照)
- (10) 腰ベルトを調節している。(P8参照)

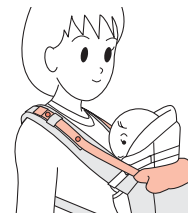


- ・鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・首すわり前タテ抱っこ使用時は、連続1時間以上または、授乳後30分以内は使用しない。お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。

フード

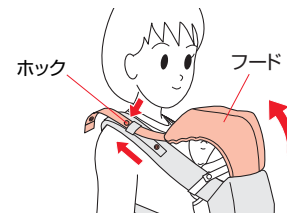
- ・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

〈使用しない時〉



〈使用する時〉

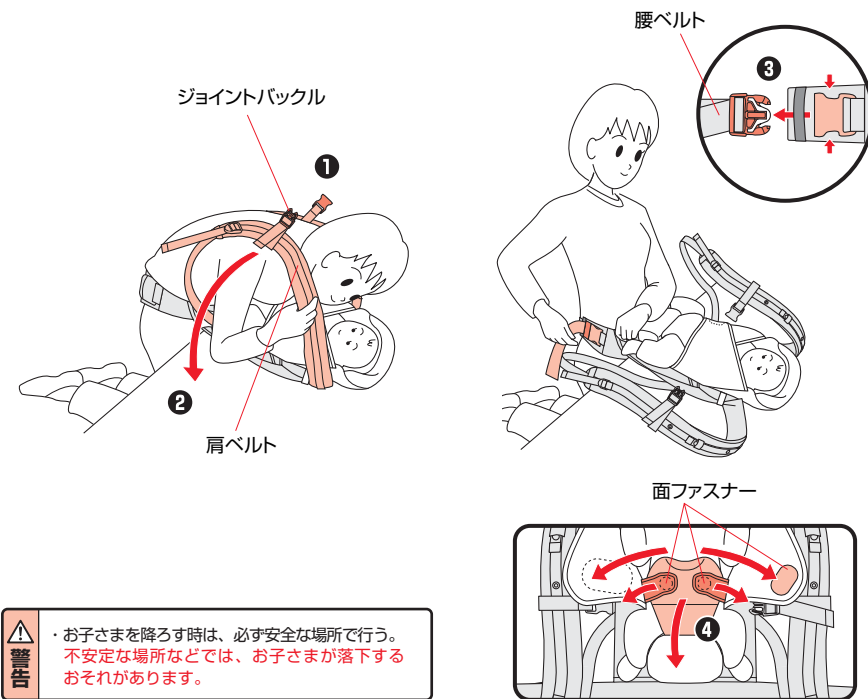
- ①左右のホックを外す。
- ②お子さまにフードをかぶせ、引っ張って左右のホックをとめる。



- ・フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

首すわり前タテ抱っこの降ろし方

- ①お子さまを安全な場所に寝かせ、ジョイントバックルを外す。
- ②肩ベルトを装着者の肩から外す。
- ③腰ベルトを取り外す。
- ④カバーの面ファスナー、股カバーの面ファスナー2カ所を外し、お子さまを降ろす。



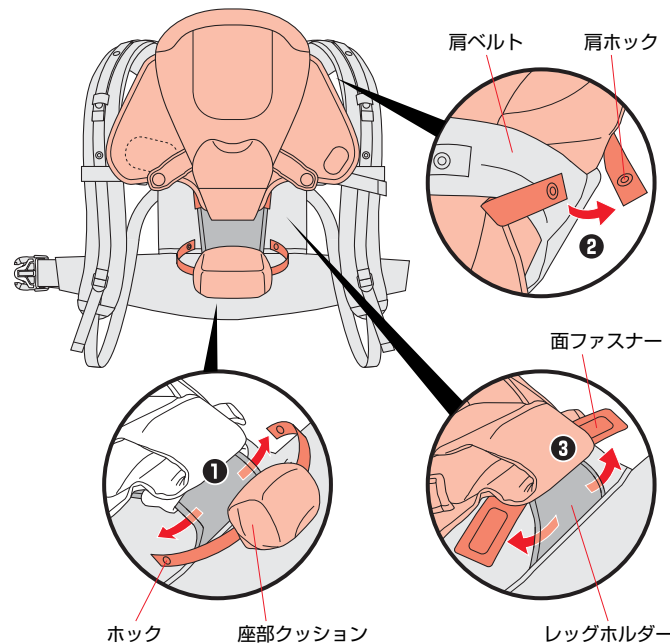
- ・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

おくるみインサート・座部クッションの取り外し

※出荷時はおくるみインサートと座部クッションがセットされています。

〈お子さまを乗せていない場合〉

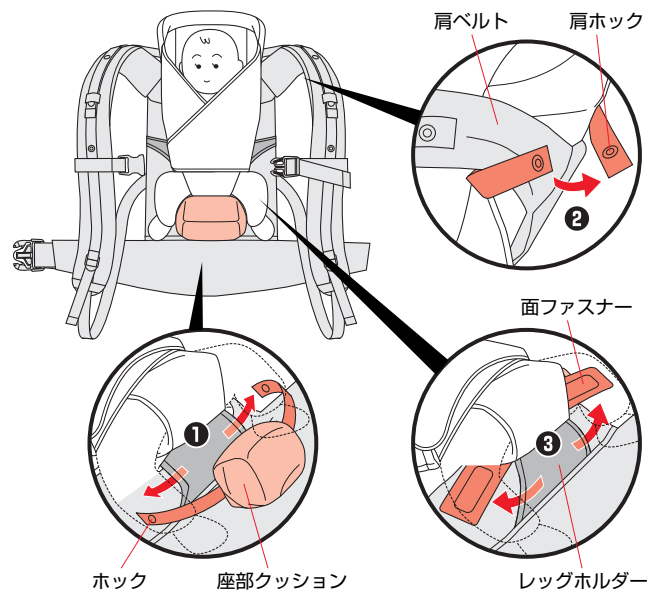
- ①ホックを外し、座部クッションを取り外す。
- ②左右の肩ホックを外す。
- ③面ファスナーを外して、おくるみインサートを取り外す。



〈お子さまを乗せている場合〉

※お子さまをおくるみインサートごと子守帯から降ろし、そのままお布団などに寝かせてあげることができます。(P12参照)

- ①ホックを外し、座部クッションを取り外す。
- ②左右の肩ホックを外す。
- ③面ファスナーを外して、おくるみインサートを取り外す。
- ④おくるみインサートの肩ホック、面ファスナーをとめる。

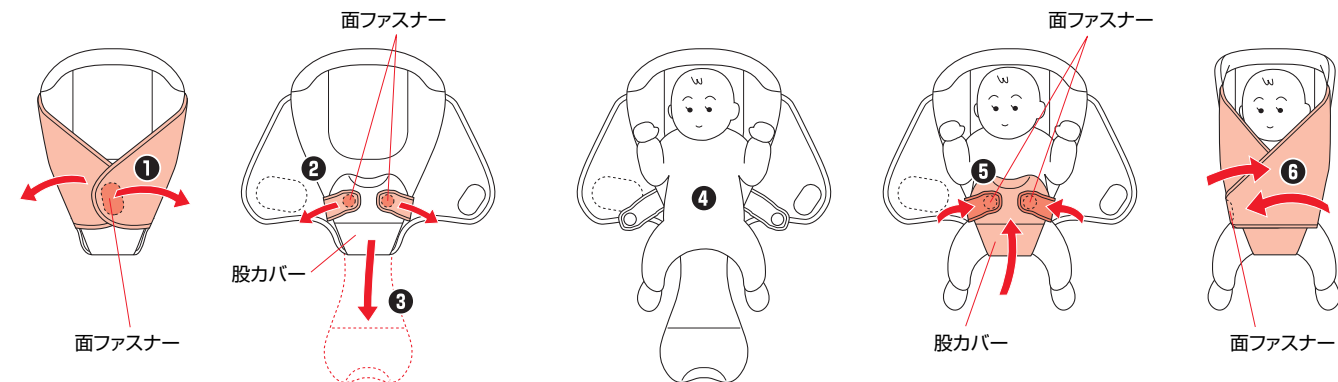


おくるみインサートを単体でお使いいただく場合

・お子さまを寝かしつけたり、落ち着かせるためにお使いいただけます。そのままお布団などに寝かせてあげることができます。

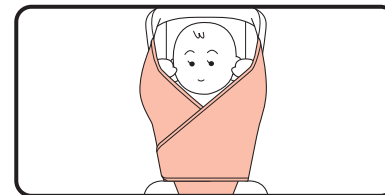
〈使い方〉

- ①カバーの面ファスナーを外す。
- ②股カバーの面ファスナーを外す。
- ③股カバーをひろげる。
- ④おくるみインサートにお子さまを乗せる。
- ⑤股カバーをお子さまにあて左右の面ファスナーをとめる。
- ⑥お子さまの腕を包み込み、カバーの面ファスナーをとめる。



アドバイス

・腕を包み込み、カバーをきつめにすることをオススメします。ただし、お子さまの手を出しても使用できます。



- ・首がすわったお子さまにはおくるみインサートを使用しない。うつぶせになると窒息のおそれがあります。
- ・お子さまを拘束する必要がある製品には乗せない。お子さまを適切に拘束できません。
- ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

おくるみインサート

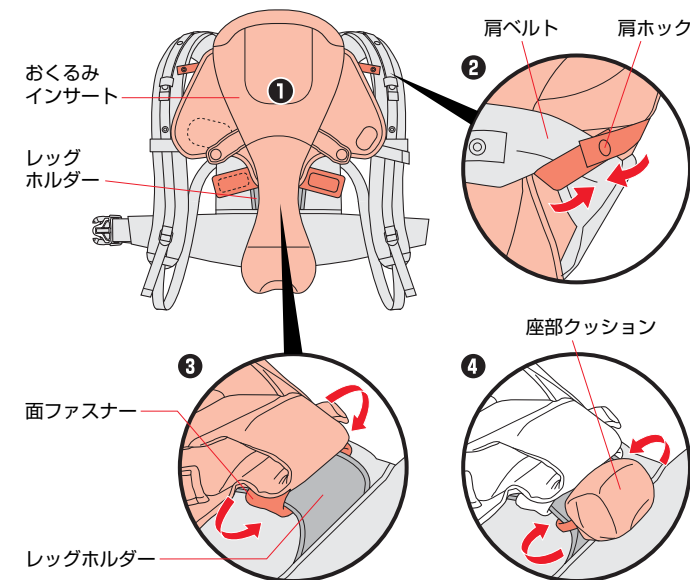
体重 2.5 kg ~ 体重 7 kg

おくるみインサート・座部クッションの取り付け

※出荷時はおくるみインサートと座部クッションがセットされています。

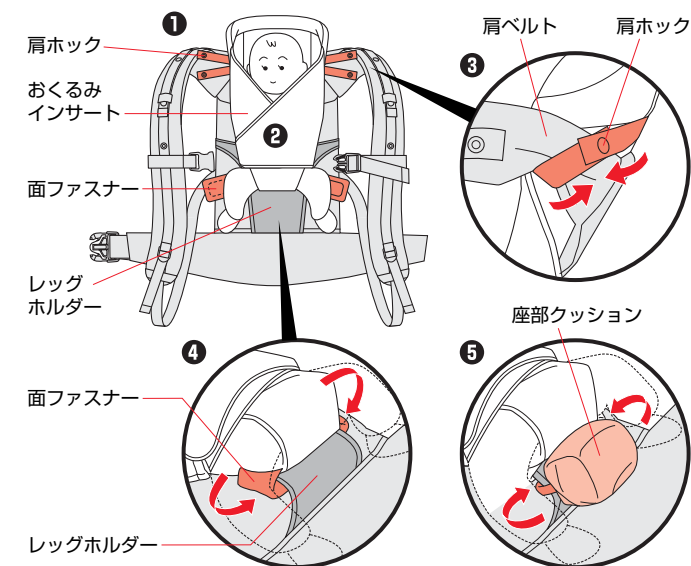
〈お子さまを乗せていない場合〉

- ①バックルを全て外した子守帯におくるみインサートをのせる。
- ②肩ホックを肩ベルトに巻き付け、ホックをとめる。(左右)
- ③面ファスナーをレッグホルダーに巻き付け、とめる。
- ④座部クッションのホックをレッグホルダーに巻き付け、とめる。



〈お子さまを乗せている場合〉

- ①おくるみインサートの肩ホック、面ファスナーを外す。
- ②バックルを全て外した子守帯におくるみインサートをのせる。
- ③肩ホックを肩ベルトに巻き付け、ホックをとめる。(左右)
- ④面ファスナーをレッグホルダーに巻き付け、とめる。
- ⑤座部クッションのホックをレッグホルダーに巻き付け、とめる。



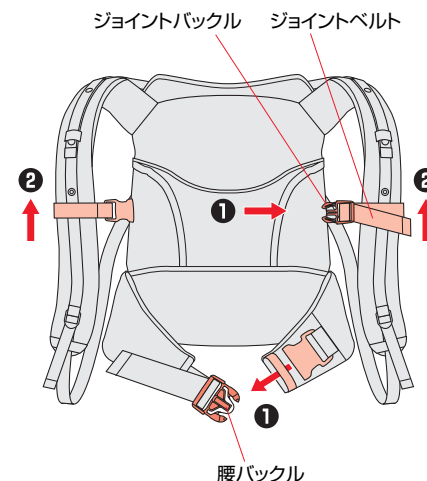
警告 ・首すわり前タテ抱っこでは、おくるみインサートと座部クッションを必ずご使用ください。お子さまが体調を損なうおそれがあります。

タテ抱っこの準備

- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②ジョイントベルトを上にはずらす。

アドバイス

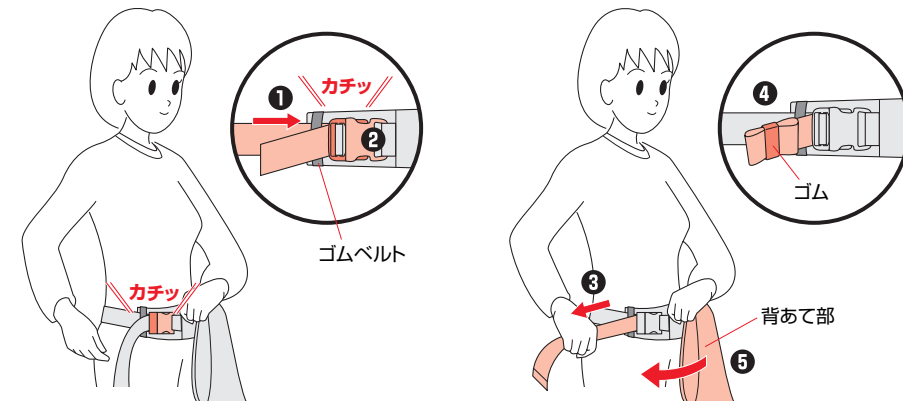
・ジョイントベルトを上にはずらすと、後で(P15⑨)首の後ろでジョイントバックルがとめやすくなります。



タテ抱っこの装着方法

(つづく)

- ①腰バックルをゴムベルトに通す。
- ②腰バックルをとめる。
- ③腰ベルトを調節する。
- ④あまったベルトをゴムでまとめる。
- ⑤背あて部を正面にする。



・タテ抱っこの際は、おくるみインサートと座部クッションを取り外した状態で使用してください。お子さまが体調を損なうおそれがあります。
・ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

タテ抱っこ

首すわり〜体重 13 kg

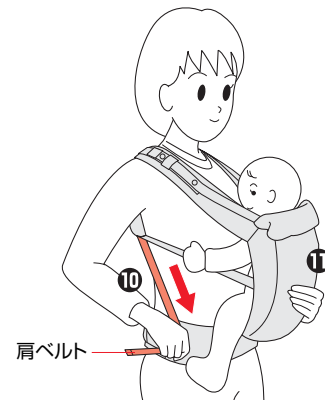
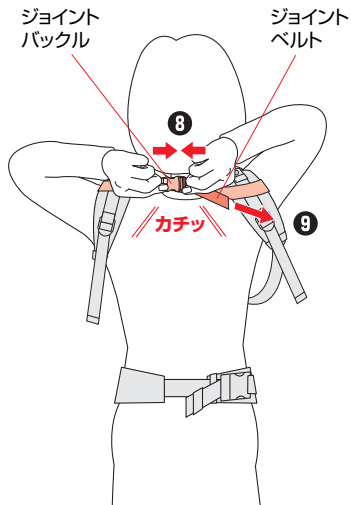
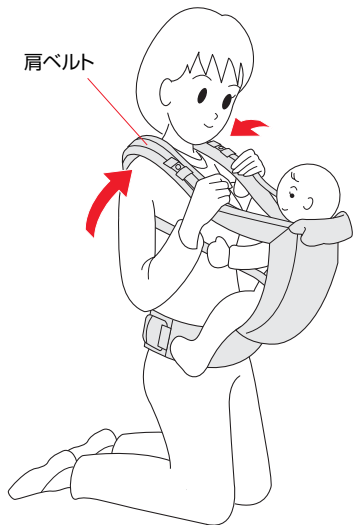
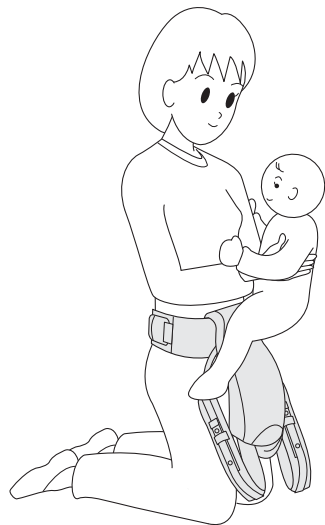
タテ抱っこの装着方法（つづき）

- ⑥ お子さまを抱き上げ、子守帯に乗せる。 ⑦ 左右の肩ベルトをかける。

- ⑧ 首の後ろでジョイントバックルをとめる。
⑨ ジョイントベルトを調節する。

- ⑩ 左右の肩ベルトを調節する。
⑪ お子さまの位置を調える。

- ⑫ 鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
※正しく装着できていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



アドバイス

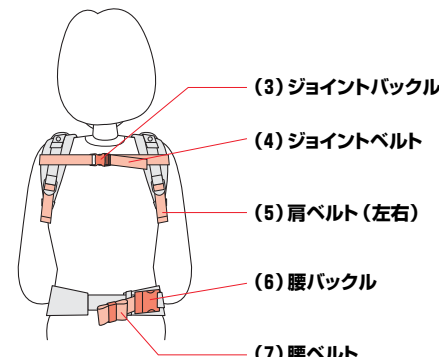
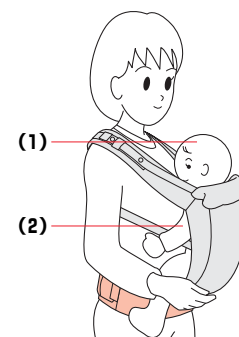
- ・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- ・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯に直接触れないようにしてください。



- 警告
- ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ抱っこの確認

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| (1) お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない | (4) ジョイントベルトを調節している |
| (2) お子さまの両腕が出ている | (5) 肩ベルトを調節している |
| (3) ジョイントバックルが確実にとまっている | (6) 腰バックルが確実にとまっている |
| | (7) 腰ベルトを調節している |



- 警告
- ・鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・タテ抱っこ使用時は、連続2時間以上または、授乳後30分以内は使用しない。お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。



- 警告
- ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

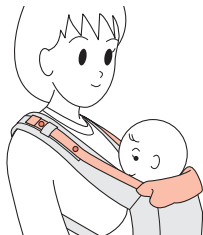
アドバイス

- ・お子さまの腕は、肩ベルトの外側でも内側でも構いません。外側に出している時に、お子さまが反り返る場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

フード

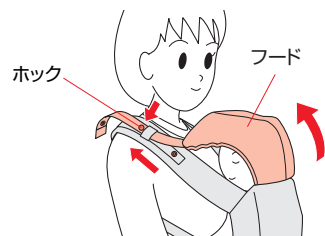
- ・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

〈使用しない時〉



〈使用する時〉

- ①左右のフックを外す。
- ②お子さまにフードをかぶせ、引っ張って左右のフックをとめる。



・フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

レッグホルダー

- ・タテ抱っこ時も、レッグホルダーを使用できます。
使用すると、お子さまがより安定します。

※レッグホルダーは、お子さまが小さい間（18カ月頃まで）
ご使用ください。

アドバイス

・タテ抱っこ時、レッグホルダーを使用すると「抱っこからおんぶへ」の
切替がより安定してできます。

〈使用する時〉

- お子さまの足をレッグホルダーに通す。



・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

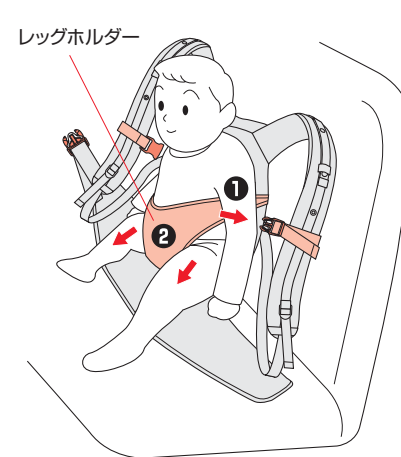
おんぶの装着方法

※おくるみインサートと座部クッションが取り外されているか確認してください。

（つづく）

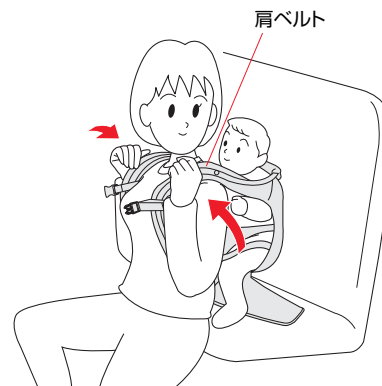
- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②お子さまの足をレッグホルダーに通す。

※レッグホルダーは、お子さまが小さい間
（18カ月頃まで）体を安定させる為
にご使用ください。



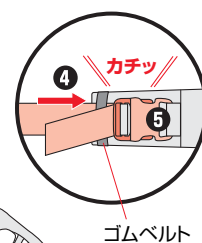
・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶ
する際には他の人に手伝ってもらいより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するお
それがあります。

- ③左右の肩ベルトをかける。



・お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

- ④腰バックルをゴムベルトに通す。
- ⑤腰バックルをとめる。



・お子さまの足が腰ベルトと装着者の間に挟まら
ないように注意してください。

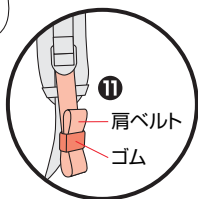
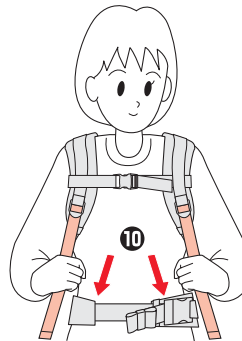
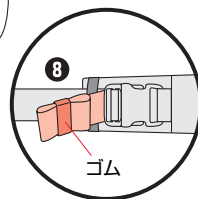
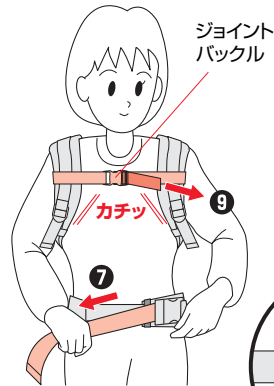
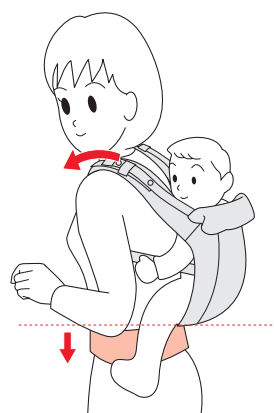
おんぶの装着方法 (つづき)

⑥腰ベルトの位置をお子さまのお尻より低くなるように調節する。
(左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。)

⑦腰ベルトを調節する。
⑧あまったベルトをゴムでまとめる。
⑨ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。

⑩左右の肩ベルトを調節する。
⑪ベルトをゴムでまとめる。

⑫鏡に映して、おんぶの状態を確認してください。
※正しく装着できていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

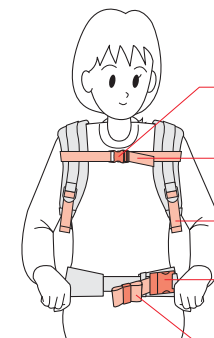
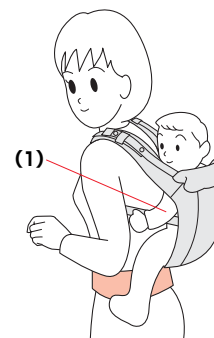


アドバイス

- ・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- ・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当て、子守帯に直接触れないようにしてください。

おんぶの確認

- (1) お子さまの両腕が出ている
- (2) ジョイントバックルが確実にとまっている
- (3) ジョイントベルトを調節している
- (4) 肩ベルトを調節している
- (5) 腰バックルが確実にとまっている
- (6) 腰ベルトを調節している



- (2) ジョイントバックル
- (3) ジョイントベルト
- (4) 肩ベルト(左右)
- (5) 腰バックル
- (6) 腰ベルト



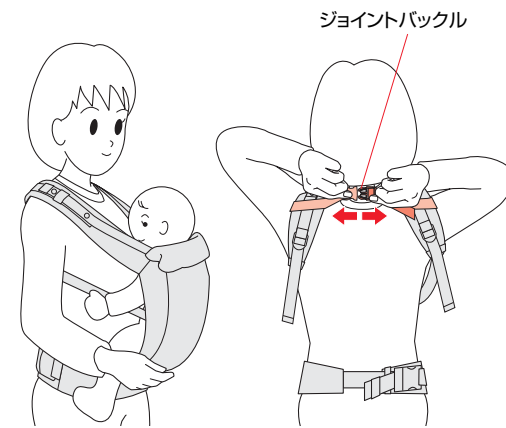
- ・鏡に映して、抱っこ状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・おんぶ使用時は、連続2時間以上または、授乳後30分以内は使用しない。
お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。



- ・装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

タテ抱っこからおんぶへ (つづく)

①タテ抱っこの状態でジョイントバックルを外す。



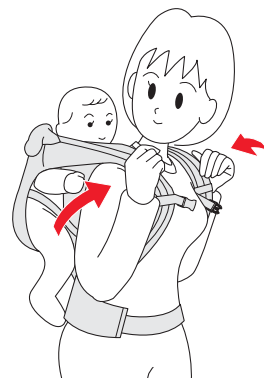
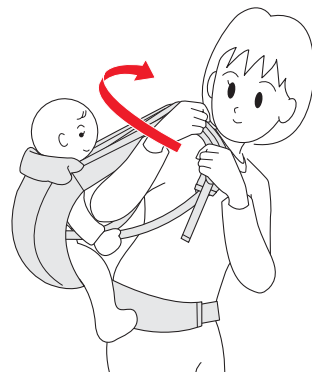
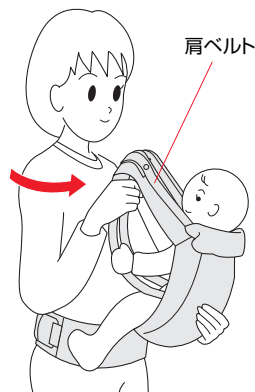
- ・タテ抱っこからおんぶへ変える時に限り、必ずレッグホルダーを使用する。
お子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

- ・お子さまが装着者の腰に安定する位置にする。

タテ抱っこからおんぶへ (つづき)

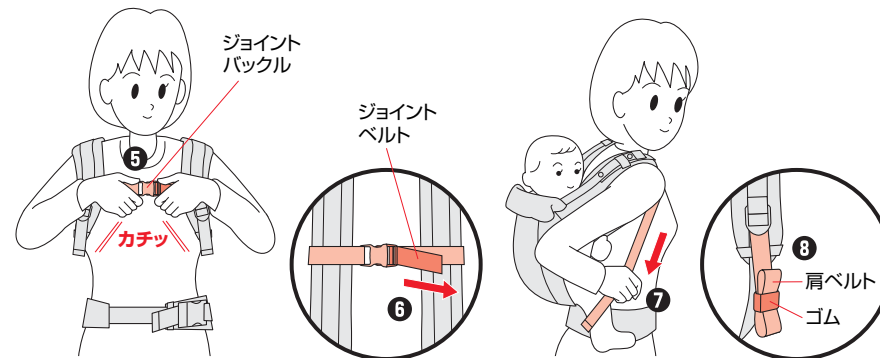
- ②左右の肩ベルトを肩から外し、まとめる。 ③肩ベルトをしっかり持ち、お子さまを支えて背中側にまわす。



- ④左右の肩ベルトをかける。

- ⑤ジョイントバックルをとめる。
⑥ジョイントベルトを調節する。
⑦左右の肩ベルトを調節する。
⑧ベルトをゴムでまとめる。

- ⑨鏡に映して、おんぶの状態を確認してください。
※正しく装着できていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



アドバイス

- ・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- ・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯に直接触れないようにしてください。



- ・鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・おんぶ使用時は、連続2時間以上または、授乳後30分以内は使用しない。
お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。

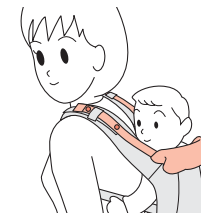


- ・装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

フード

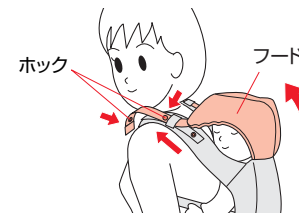
- ・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

〈使用しない時〉



〈使用する時〉

- ①左右のホックを外す。
②お子さまにフードをかぶせ、引っ張って左右のホックをとめる。



- ・フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。



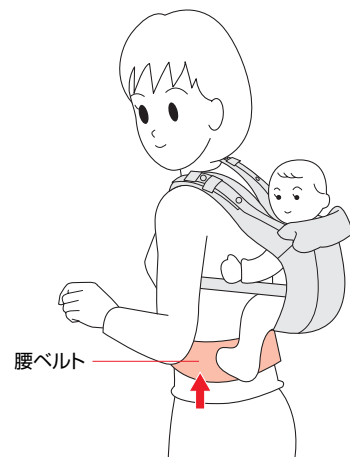
- ・お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。



- ・タテ抱っこからおんぶへ変える時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらうとより安全です。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

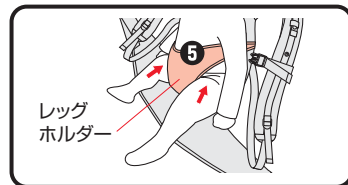
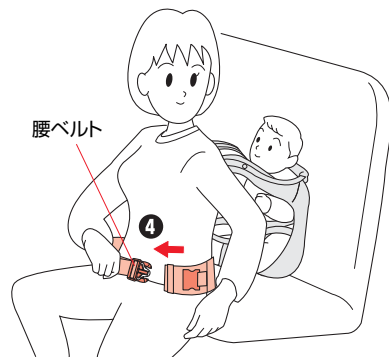
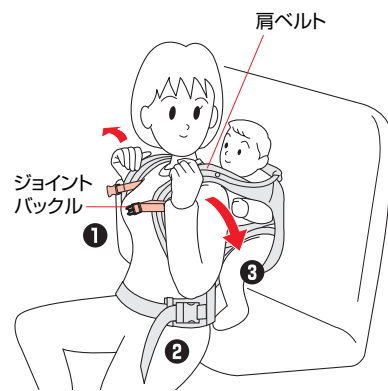
月齢が小さい時

- ・お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。



おんぶの降ろし方

- ①ジョイントバックルを外す。
- ②お子さまをゆっくり降ろす。
- ③肩ベルトを外す。
- ④お子さまを降ろし、腰ベルトを外す。
- ⑤お子さまの足を、レッグホルダーから抜く。



・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
他の人に手伝ってもらうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下する
おそれがあります。

点検について

- ・ご使用の前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。
異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

- ・濡らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干ししてください。

〈洗濯する場合〉



- ・子守帯本体については洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

- ・蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので、使用しないでください。
- ・色落ちするおそれがありますから、他の物とは別に洗濯してください。
- ・子守帯本体は30℃以下の水で押し洗いし、形を整えて干してください。
- ・漬け置きしないでください。
- ・洗濯後、充分乾燥させて使用してください。
- ・乾燥が不十分な場合、カビなどが発生する可能性があります。
- ・漂白剤を使用しないでください。

保証とアフターサービスについて

- ・保証期間中（**お買い上げ日より1年間です。**）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応いたします。
ただし、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

〈アフターサービスについての連絡先〉

アプリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

SGマークについて



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、子守帯の場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

首すわり前タテ抱っこ時（おくるみインサート使用時）および、おくるみインサートの単体使用時は、SG子守帯基準対象外（SG損害賠償制度除外）となります。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。（原則として60日以内）

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
 - イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
 - イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
 - イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度